

平成29年度 総務部長の目標宣言 達成状況報告

総務部長 安藤 隆幸

NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	取組結果 今後の取組の方向性	目標達成状況
1	文書管理システムの導入検討 (文書法制課)	・文書の収受、処理、保存、情報公開等、一連の文書取扱事務を適正かつ効率的に実施するため、文書管理システム導入の検討を進めます。	・文書管理システムの導入方針の決定	・平成30年度から文書管理システム導入に関する準備を始め、平成32年度からシステム導入、運用を開始することを決定しました。 [今後の取組の方向性] ・文書管理システムを導入するにあたり、仕様の検討、業者選定、文書管理基準等の見直し、マニュアルの作成、説明会等の準備業務を着実に進めます。	・目標どおり達成しました。
2	女性職員及び若手職員の人材育成の推進 (職員課)	・女性職員及び若手職員の意識、能力の向上を図るため、派遣研修等への参加人数を増やすとともに、管理監督職へ積極的に登用します。	・女性職員の管理職の割合 14%(30年4月1日時点)	・自治大学校や早稲田大学マネジメント部会など職場外研修(派遣研修)に女性職員を積極的に派遣しました。また、政策立案能力を養成するために若手職員を対象とした政策研究研修を実施しました。 ・適正な職員配置のもと、女性職員を管理監督職へ登用しましたが、退職者数の方が多く目標値には届きませんでした。 [今後の取組の方向性] ・職員の意識、能力の向上を図るために、多種多様な職員研修を推進します。	[実績値] ・女性職員の管理職の割合 12.1%
3	住民情報の安全管理 (情報政策課)	・チェック機能の強化や事務効率の向上を実現するために必要となる、最低限のシステム改修を行い、基幹系システムの更新を行います。	・基幹系システムの更新 (平成29年12月末まで)	・システム改修については、後期高齢者医療のコンビニ納付対応や、手作業で行っていた就学援助事務のシステム化などを実施しました。 ・基幹系システムの更新は、年末年始に大きな問題もなく更新することができました。 [今後の取組の方向性] ・住民情報の漏えいなどが発生しないよう、セキュリティ研修、的確なシステム管理・運用を継続します。	・目標どおり達成しました。
4	不要公有財産の処分 (管財契約検査課)	・普通財産の売却処分については、廃道水路敷及び市営小山住宅跡地の財産処分を行います。	・用途廃止したインフラ資産の売却処分(廃道水路敷等) ・市営小山住宅跡地の売却処分	・旧市営小山住宅跡地は、12月に落札者が決定し、1月に諸手続が完了しました。また、廃道水路敷の財産処分も行いました。 [今後の取組の方向性] ・税外収入確保のため、不要公有財産の売却処分に取り組みます。	[実績値] ・財産処分件数 4件 ・税外収入総額 159,783千円